

会 議 録

会議名	令和3年度第3回東浦町ご当地グルメ開発実行委員会	
開催日時	令和4年3月23日（水） 午後2時30分から午後3時30分	
開催場所	勤労福祉会館 2階 会議室2	
出席者	委員	石川恭央氏、近藤晃子氏、前田寛氏、園田祐美子氏、田近美由紀氏、田島由美子氏、中瀬進吾氏、古田純也氏、水野善久氏（委員長）、向井敬太郎氏、山口充彦氏、山崎紀恵子氏、竹内理子氏、照井聖子氏
	事務局	植田ふくし課地域包括ケア推進係長、鶴島健康課主任専門員、尾上健康課成人保健係技師、水野農業振興課農政係主査、村上商工振興課商工観光係長、尾前商工振興課商工観光係主事
欠席者	鈴木涼子氏	
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 ご当地グルメの方向性について 2 各部会の進捗について 3 ご当地グルメネーミングについて 4 今後のスケジュールについて 	
傍聴者の数	1名	
審議内容	<p>◆事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ ・傍聴人の許可 ・会議録作成にあたり、写真撮影及び音声録音の連絡 ・配布資料確認 ・会議の成立 <p>要綱第6条第2項に基づき、委員の2分の1以上が出席していることから、会議の成立を報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以降は、委員長が議事を取回す。 <p>◇委員長</p> <p>委員長あいさつ。</p> <p>（議題1）ご当地グルメの方向性について</p> <p>◆事務局</p>	

ご当地グルメ開発は、骨折予防プロジェクトの取組みとして始まり、生活に欠かせない食を通して骨折予防を普及し、骨折予防に取り組むまちのイメージを広め、さらには、食による元気なまちづくりと地域活性化を図ることが目的である。

ご当地グルメの基本コンセプトは、①環境にやさしいこと、②東浦町に紐付けられること、③骨折予防に役立つこと、であり、この三つに該当する食材として、「おから」と「摘果ぶどう」を使用したグルメを推奨していく。

これには、廃棄食材を使用することで、SDGsの側面からご当地グルメを知ってもらい、骨折予防を普及させる狙いもある。

「おから」「摘果ぶどう」以外に、三つの基本コンセプトに該当する食材があれば、ご当地グルメ食材として推進していきたい。

東浦町のご当地グルメは、環境、健康、農業・商業、観光といった様々な分野を繋げる存在であり、多くの分野に効果をもたらすものと考えている。

将来的には、ご当地グルメが地域循環を伝えるツールとなり、住民の食育を進める取組みとなることを考えている。

ご当地グルメ開発の取組方針を、「骨折予防に役立つご当地グルメを地域に根付かせ、骨折予防を普及する」こととする。

ハッピーボーン開発部会では、グルメ開発、学校給食や社食等への展開、オリジナル商品開発を通して地域にグルメを広める取組みを進めている。

普及促進部会では、飲食店によるグルメ開発を後押しし、飲食店の協力のもと地域にグルメを広める取組みを進める等、普及啓発を進めていく。

◇委員長

ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(議題2) 各部会の進捗について

・ハッピーボーン開発部会

◇委員 (ハッピーボーン開発部会長)

おからで本当にいいか、どうやって進めたらいいか、悩みながら議論を重ねてきた。今は、おからの良さを追求し、部会員全員がおから愛をもって進めている。

本部会では、学校給食での提供に向けて、学校給食を対象としたレシピ考案を行っている。学校給食で子どもたちの人気を得て家庭に広げ、地域のグルメとして根付いていくことを目標としている。

令和5年度から、月に1回学校給食で提供することを前提に、令和4年度に3品をプレ提供する。

3月10日には、レシピの試食会を行い、学校給食で食べやすく、提供しやすい形状や味付け、組み合わせ等について意見交換を行った。

現在考えている提供レシピとして、おじゃころ、うの花ご飯の素、つくね、おからふりかけ、まぜそば、呉汁、おからハンバーグがあり、このうちの3品を令和4年度にプレ提供する予定。

摘果ぶどうが手に入る時期には、摘果ぶどうプラスおからのレシピを開発する予定。保育園給食や社食でも提供してもらえるレシピや、飲食店で提供してもらうための季節限定レシピを考案したい。

令和3年度は、本格的に試作するだけの摘果ぶどうが手に入らないことから、ぶどう農家から譲っていただいたアグリーダ（ぶどうのしぼり汁）を使用し、一部の委員に試作していただいたところ、味も使い勝手も良いとのことで、期待している。

◇委員長

環境と骨折予防に良いものを考え、生産の過程で通常廃棄してしまうものである、おから、摘果ぶどうの活用を考えている。

・普及促進部会

◇委員（普及促進部会長）

提供店と産業まつりの2点について話し合っている。

提供店については、令和4年度11月ごろからご当地グルメを提供していただけるよう、提供店の制度概要を検討している。

ご当地グルメの提供店として認められるためのルールを次の2つとした。

1つ目は、摘果ブドウ、おから、又は摘果ブドウとおからを使用したグルメを提供すること。

2つ目は、ご当地グルメの印となるシールをメニュー表等に貼りつけること。

この2点を満たしているグルメを提供している店舗を提供店

とする。

提供店の募集については、事務局と委員で町内飲食店を回り、事業説明とお願いをする予定。

ご当地グルメのネーミングを本日の実行委員会で決定し、それに伴い、ロゴ、提供店ステッカー、シール、POP、のぼり旗等を作成していく。

産業まつりでは、ご当地グルメ決定に合わせて、広く周知できる企画を検討している。

◇委員長

ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(議題3) ご当地グルメのネーミングについて

◇委員(普及促進部会長)

ご当地グルメのネーミングについて、本日の実行委員会で決定したいと考えている。

東浦町のご当地グルメは、骨折予防プロジェクトから始まっていることから、地域の特産品を使用したご当地グルメとは異なる側面を持っている。

東浦町のご当地グルメにネーミングを付けることで、町民への普及促進、他自治体との差別化を図ることができると考え、普及促進部会では、3種類の案に絞った。

案1「東浦Re-Boneグルメ」

生まれ変わるという意味の「Reborn」と、骨を意味する「Bone」を組み合わせたもの。「Re-Bone」を、耳馴染みの良い言葉である「リボン」と呼び、「リボングルメ」として販促にリボンを多用するとよいのでは、と考えている。

案2「ひがしうらサステナボーングルメ」

持続可能なという意味の「サステナブル」と骨の「ボーン」を掛け合わせたもの。「サステナボーンふりかけ」や「サステナボーンコロッケ」というように、グルメごとに名前を変えて使ってもよい。

案3「健骨100年グルメ」

名前を見ただけで、どのようなグルメなのか、わかりやすく伝わることを意識したもの。100年イコール100歳というイメージ

で、骨折予防ということが一目でわかることがポイント。

3種類のネーミング案を用いたロゴ案を資料として付けたので、ネーミングを決める参考にさせていただきたい。

◇委員長

ご意見、ご質問はあるか。

◇委員

普及促進部会の皆さんが考えてくださった3種の場合であるため、付け加えたり変更したりせず、この中から選べるとよいのでは。

◇委員

我々も非常に苦労した。委員がそれぞれ宿題として持ち帰り、数点から数十点の意見を出し合い、何とか3つに絞った。普及促進部会としては、ベストの3つだと思っている。できれば、この中から選んでいただきたい。

◇委員

ネーミングの最後は、すべて「グルメ」としているが、「メニュー」や「レシピ」等、良い案があれば変えてもよいと考えている。

◇委員長

各部会で話し合う時間を取る。

(各部会で検討)

◇委員

案1と案3について、どういう思いで名前を付けたか、詳しく知りたい。

◇委員

案1を提案した。生まれ変わることを意味する「R e b o r n」と、骨を意味する「B o n e」を掛け合わせた造語。摘果ブドウやおから等、掛け合わせて色々なものが生まれ変わる、という意味を込めたネーミング。リボングルメという愛称を使うことで親しみやすく、販促にリボンを多用することでかわいらしくなるの

ではと考えた。また、リボンは色々なものを結ぶということで、ご当地グルメのコンセプトにも合うのではないかと考えた。

◇委員

案3を提案した。健康な骨100年、100という数字はインパクトがあり、長く健康が続きますようにという思いで考えた。骨折予防グルメというのは、何も知らない人にはわかりづらい。オシャレ感ではなく、ネーミングやロゴを見たときに、「こういうことをやっているんだ」と、一目でいかにわかりやすいかということにこだわった。

◇委員

案1と案3で迷っている。ロゴがどんなものになっていくかにもよる。ロゴデザインが良ければ、健骨100年グルメが覚えてもらいやすく、普及しやすいのではという気持ちと、リボンの方が馴染むのでは、という気持ちがある。

◇委員

ハッピーボーン開発部会は、ネーミング案を初めて見るので、とても悩んでいる。始めは、7人中6人が案1、1人が案3を選んだ。説明を聞いて、案3がよいという意見も出た。

◆事務局

案1と案3を残すような方向でもよい。名称として長くなるので、使い方を考える必要があると思うが、例えば、「健骨100年～Re-Boneグルメ～」など。

◇委員

100年は必要か。健骨だけ残してはどうか。

◇委員

深く考えるほど、我々は愛着が出るが、今後広めることを考え、一般の人がどう思われるかが一番大事だと思う。

◇委員

健骨100年Re-Boneグルメと、健骨Re-Boneグルメの二つの案が出ている。

◇委員長

この後の作業部会でも話し合ってください、メール等で投票とする。何か意見がある場合、作業部会終了までに事務局に申し出ること。

(議題4) 今後のスケジュールについて

◆事務局

ご当地グルメの取組方針に基づき、今後の取組みを進めていく。

ハッピーボーン開発部会では、令和4年度には、学校給食にグルメをプレ提供し、子どもたちの反応を確認しながら、令和5年度の定期提供に向けてグルメの改良を行うとともに、地域の飲食店での提供を目指した夏季限定グルメの開発を進める。また、学校給食での定期提供を開始し、ご当地グルメに使用する食材、摘果ぶどうの安定供給のための商品開発などを進める。令和6年度には、摘果ぶどう等のオリジナル商品の商品化を目指す。

普及促進部会では、令和4年度には、グルメ開発及び提供に協力していただける飲食店を募り、提供店の周知と共にご当地グルメの普及策を検討し、実行していく。令和5年度以降は、夏季限定グルメの提供にご協力いただける飲食店を募りながら、引き続きハッピーボーン開発部会と普及促進部会の両者の動きを連動させたご当地グルメの普及策として、イベント等を実施するなどの仕掛けを検討し、実施していく。

◇委員長

ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

◆事務局

委員名簿7番の田島委員が地区コミュニティ推進協議会会長を令和3年度で退任されるので、他地区のコミュニティ会長に委員を依頼する。4月からは、委員番号1番の石川委員に普及促進部会の部会長を依頼する。

田島委員には、4月以降も、コミュニティ推進協議会以外の立場で引き続き携わっていただく予定。

	<p>◇委員長 本日の議題は以上とする。事務局へお返しする。</p> <p>◆事務局 全体を通して、何か意見はあるか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>◆事務局 閉会を宣言。</p>
備考	なし